

週報

令和4年6月3日
2021~2022年度 No.24

2021-22年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

プログラム

S A A 三村 剛孝君

☆点 鐘

☆国歌斉唱「君が代」

☆ロータリーソング斉唱

「奉仕の理想」

☆四つのテスト唱和 職業奉仕委員会

☆誕生祝

☆会長の時間

☆幹事報告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部内卓話

「脱炭素化地球温暖化防止」

清瀧 誠司君

☆点 鐘

☆食事懇談

現在会員				32名				前々回の欠席者(5/20)				9名			
本日	出席	17名	欠席	8名	免除(a)欠席	3名	免除(b)欠席	2名	出席率	70.37%					
前々回	出席	16名	MU	0名	免除(a)MU	3名	免除(b)MU	3名	修正出席率	65.38%					
月別出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
	本年度	74.94	休会	休会	81.53	77.59	73.49	85.71	休会	70.49	69.74	70.51			
	前年度	83.33	87.63	79.27	76.75	80.65	80.27	全休会(0)	75.93	78.09	82.34	全休会(0)	80.48		

例会場 カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
 例会 金曜日(12時30分~13時30分)
 事務所 長崎県五島市末広町8-4
 福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会長 山下 克己
 副会長 吉田 泰之
 幹事 橋本 武敏
 雑誌:会報委員長 橋本 武敏

誕 生 祝

清瀧 誠司君(昭和15年5月27日生)

本日は誕生のお祝いをいただき感謝しております。

5月27日で82歳になりました。又、五島に住み始めて60年の節目の年にもなりました。

Official髭男dism通称ヒゲダンの歌に「115万キロのフィルム」があります。そこそこヒットした歌で、何気ない人生を淡々と描いた散文的な詩が好きで、今風のメロディーです。

人生を80年ほどと思い、愛する人の毎日を映画として撮ると115万キロメートルの長さのフィルムが必要だそうです。小生はもう既に115万キロメートルの長さのフィルムは使い切っていて、現在は上書中と思われます。エンドマークはまだ出ないようです。皆さん、今後も宜しくお付き合いください。



山下 克己君(昭和25年6月1日生)

本日は誕生日のお祝い、誠にありがとうございます。

早いもので、令和4年6月1日をもって72歳と相なりました。誠に「人生は、短くて、束の間に過ぎ去る」という、誰かの言葉を思い出します。

26年前、私は46歳で孫ができて、その子が今、26歳。明日の6月4日の土曜日に、福岡で結婚式を挙げます。今日の会長・幹事会の終了後、そのまま福岡に行き、明日の結婚式に臨みます。

年をとるほどに、過ぎゆく時間が早くなるように思います。時計の針は、かわらずに時を刻み続けているというのに、不思議なことでもあります。

今のところ、こうして若い皆様方と一緒に語り、また活動することができて、おかげさまで体調の方もすこぶる順調で、大好きな家庭菜園の畑仕事や果樹の世話に明け暮れています。そのせいもあってか、適度な疲労感があるからか、もとよ

り「呑兵衛」でもありますが、夕食の1合半の晩酌が何よりも楽しみです。これからも、皆様方のご指導により、人生を楽しみ、また、多少なりとも人様のお役に立てるような生き方ができるように励みたいと願っております。

本日は、ほんとうにありがとうございました。



山下 実君(昭和38年6月3日生)ズバリ!

誕生日お祝いありがとうございます。

40歳の12月に福江RCに入会して、18回目のお祝いをしていただきました。

しかも「ズバリ」ということで、確か3回目になると記憶しています。

毎回話していますが、6月3日は雲仙普賢岳火砕流発生の日でもあります。40数名の尊い命が奪われた日となります。

さて、昨日58歳最後のゴルフで「三岳」を叩いてしまい、非常に悔しい思いをしました。ボールに当たらないのです、パター以外が。明日59歳最初のラウンドとなりますが、ぜひリベンジして80台を出すことを、この場を借りて申し上げておきます。

いつのまにか還暦一步手前の歳となりましたが、これからも元気で、仕事に遊びに全力で頑張りたいと思います。

本日は、ありがとうございました。



会長の時間

会長 山下 克己君

皆様、こんにちは。

今週もまた、好天気が続いています。日中の暑さが、少々苦になるようになりました。毎年、この時期になると庭のしげみで、ホタルが飛ぶのを観察できるようになります。今年は気候のせいか、いつもと比べてものすごい数で、かすかながらもキラキラと輝いているのを見て、心なしか気持ち癒される思いをしております。

さて、本日は6月3日、6月度、第1例会、通算第24例会となります。24回目の会長の時間を務めさせていただきます。

最初は報告からです。本日、最後の会長・幹事会に出席する為に16時30分発のジェットで長崎まで行ってきます。定例会を含め、新型コロナの影響で十分な活動ができておりませんので、報告事項をどうするか悩んでいるところです。

先週は、魚の肉質改善についてのお話でしたが、説明が不十分で分かりにくかったと思います。要は新しい餌の研究と、それを作るための設備の開発を同時に行う必要があったということです。餌によって魚の味が変わるということが分かりました。実は、この試みにはもう一つ大きな別の目的がありました。というのは、環境問題でもありますが、それまでの生の魚をミンチですり潰して餌として与えるやり方は、かなりのロスが生じます。細かくすり潰した餌は、生け簀の外に流れ出やすい。それはエサのロスもさることながら、環境汚染にもつながる大きな問題があり、その対策でもありました。結果、一石二鳥ということで、漁場負担も軽くなり肉質の改善も大幅に進みました。ですから、比較的短期間で全国、各地の養殖場に広まりました。今や品評会なども催され、業者間の競争も激しくなっています。

私も、いろいろと試行錯誤を致しましたが、先週も話した通り、やはりエビの効果が一番良い結果となっているように思えて、いろいろな食材と一緒に沖アミを少量補助的に混ぜ合わせることで、肉質改善に取り組んできました。今のところ、お客様にもたいへん好評で、有難いことだと思っています。刺身の旨さは、甘味にあると考えています。かすかに甘いような、そのような魚づくりを目指してきました。クジラも、沖アミを食するために北半球から、南氷洋まで南下します。あの巨体を支えるためには、必要不可欠の食べ物だと

われています。沖アミの持つ各種のビタミン類や消化酵素が、とても効果的に働いてくれていると感じています。ですから、わたしが育てる魚では沖アミが、料理で言うところの「隠し味」ということになります。ただ難点は価格の問題があり、どうしてもコスト高になるということです。水産の場合、畜産の牛肉などのように品質が価格に反映するという状態には、まだまだなっていないということがあります。今後の大きな課題とも言えます。

結局、「養殖は、儲かるか」という質問の答えは、「いくらで、売るか」ということにあります。原価計算ができて、しかもそれが事前に予測可能な仕事です。だから、すべての産業と同様に、管理が最も重要な仕事になります。それに、農業も同じだと思いますが、経営規模の問題をクリアできれば見通しは立つと思います。現在、大手企業の農業や漁業への参入が、かなり積極的に行われているのは、そのことへの理解が段々と進んで来ているからと考えています。生き物を扱うのは危険負担が大きい。台風など自然災害の影響を受けやすい。など、まだまだリスクは大きいところもありますが、魚の保険もありますし、管理が充分ならば、ほとんどのリスクに対応できるようなシステムが出来ている状況です。ですから、大手企業が積極的に参入しているのは、見通しがついているということでもあると思います。

それでも、「どんな、仕事でも、楽な仕事はない」というのは当たり前のことです。課題を一つずつ解決していく。ということも、ほかの産業と何も変わることはありません。大きな戦略を立て、こまめな戦術を駆使する。基本は、同じと考えています。区切りが良いところで、ここまでにします。次回は加工のことを少し考えてみます。

以上で、会長の時間を終わります。ご清聴、ありがとうございました。

幹事報告

幹事 橋本 武敏君

『当クラブ関係』

1. IM実行委員会、および定例理事会の開催について

本日例会終了後IM実行委員会、および定例理事会を開催いたしますので、委員、および理事役員の方はご出席願います。

2. クラブ会費の納入について

今年度分の会費に未納がある方は、今月中に納入して頂きますようお願いいたします。

『地区関係』

1. ガバナー事務局より地区大会記念誌の配布について

『その他』

1. 例会変更のお知らせ（1件）
2. 福江中央ロータリークラブ週報 第25号
3. RI日本事務局「財団室NEWS」6月号

- ◇戸田 博之君 //
- ◇中村 吉廣君 //
- ◇柳田 靖夫君 //
- ◇山里 一郎君 //
- ◇才津 喜彦君 //
- ◇小畑 和男君 //
- ◇宮本 光藏君 //

合計 21,000円
通算合計 586,000円

委員会報告

出席報告

- ◆ 6月3日（免除(a)欠席者）
中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君
- ◆ 6月3日（免除(b)欠席者）
谷川 和啓君 佐々野邦久君
- ◆ 6月3日欠席者
片山 雅文君 松岡 孝博君 谷川 久利君
寺澤 信義君 有川 真史君 出口 雅昭君
坂井 成光君 森田 大輔君

親睦委員会

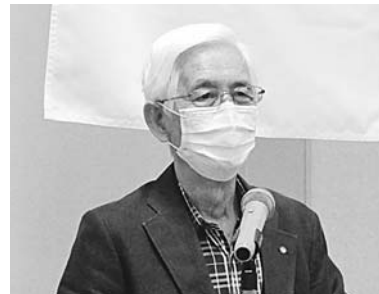
スマイル報告

- ◇山下 克己君 誕生祝いありがとうございます。
- ◇山下 実君 //
- ◇清瀧 誠司君 誕生祝いありがとうございます。
本日の卓話よろしくお願ひします。
- ◇吉田 泰之君 清瀧誠司さん、山下実さん、山下克己会長、誕生日おめでとうございます。
- ◇中村 栄治君 //
- ◇張本 民雄君 //
- ◇中村 陽二君 //
- ◇平村 和弘君 //
- ◇神之浦文彦君 //
- ◇西上裕一郎君 //
- ◇三村 剛孝君 //
- ◇橋本 武敏君 清瀧誠司さん、卓話よろしくお願ひします。

部内卓話

「脱炭素化地球温暖化防止」

清瀧 誠司君



今後、世界の人々が現在のような生活を送りますと、地球は温暖化して、地球のどこかで大規模災害、水不足、農作物の減少、干ばつ、森林火災、海面上昇などが起きて人類は住みにくくなります。

そこで、国際的な協定が行われました。パリ協定であります。その協定は全ての国に共通する目標でもあり、端的に言いますと「世界の気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く1.5℃に抑える努力をする」と決めました。

さて、本日の課題であります地球温暖化防止、脱炭素化の問題は情報が多すぎて、どこを切り取ってお話をすべきか？大変難しい課題です。

現在、世界的に問題となっているのは私共が使用するエネルギーからの二酸化炭素の排出が、主たる課題となっているのには間違いありません。

では、五島で私共が使用しているエネルギーはどんなことになっているのでしょうか。

五島のエネルギーは二種類で、「電気」と「石油製品」であります。どのような配分で使用されているかを調べたところ、電気のエネルギーが約50%で、石油、プロパンガスのエネルギーで約50%と半々となっております。通常どちらのエネルギーを使用しても、二酸化炭素が排出されます。

ではここで、二酸化炭素の排出をしない五島市

の再生可能エネルギーの電力状況ですが、他の地域とは大きく異なり、自給率は現在56%の高い自給率となっており、3年後には80%になります。

当初の問題に帰り、では何故、二酸化炭素やメタンガスが地球温暖化の原因となるのかをお話いたします。

現在の地球の平均気温は14度ですが、もし大気中に二酸化炭素やメタンがないとしますと、太陽の熱を保管できずに地球の温度はマイナス19度と冷え込んでしまいます。二酸化炭素やメタンガスは、地球にとって我々が住む上に必要なガスではありません。我々が住んでいる地球は、二酸化炭素やメタンや水蒸気などが排出されて、地球の引力で丁度地球に蓋をかぶせたようになって、太陽の輻射熱や光を宇宙に飛んでいかないように保存しております。

然しながら、私共人類は18世紀の産業革命から今日まで、石炭や石油をエネルギーとして生活の効率化を懸命に追求して来ました。その結果、二酸化炭素やメタンガス、更にフロンガスなどの温室効果ガスが多量に排出されて大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えて、その結果、気温が上昇しております。温室効果ガスの中で二酸化炭素の占める割合は約77%です。産業革命前と比較して40%以上増加しているそうです。その結果先ずは、二酸化炭素の排出量を減少しようと世界的な運動になっております。

1997の京都議定書（C O P 3）を経て、2015年のパリ協定で世界的な推進活動で、日本は世界に向けて公約しております。

又、五島市はゼロカーボンシティの宣言をしております。それ故に、今後は更に「地球温暖化防止の為に脱炭素化」は大きな課題となり、避けては通れません。

先ずは公約の実現ですが、2013年比2030年、8年後には46%の温室効果ガスの排出を削減することが必要です。

それぞれに事業所、家庭での電力使用を再生可能の電力にすることです。五島では可能で、どの電力会社にもその制度があります。

では、大企業の推進状況はどのように活動しているのでしょうか。大企業は世界的にRE-100の推進をしております。又、各企業の具体的な推進状況は、二酸化炭素の排出をScope1, Scope2, Scope3と三分割して推進活動しております。

上流、自社、下流と分けていて、上流と下流がScope3（1と2）は自社で、（1）は燃料の燃焼（2）は電気の使用です。結論として仕入先、販

売先の脱炭素化が計算されているということです。

これは、大企業と取引する場合は脱炭素化をしないと取引できない。

もう一つは、

金融機関を通じて脱炭素化や設備投資の資金が借入出来なくなります。

以上が現在推進されている脱炭素化の状況で、今後は国、行政が関わってくると思っております。

結論として、まずは再生可能エネルギーの電力の使用からのスタートでしょう。

追記

あまり見ない単位ですが、ghaと言う単位があります。それぞれの国の一人当たりの食糧、衣料品、住宅、エネルギー等の生活でのCO₂の排出を吸収したり食料を生産したりするには、どの程度の土地面積が必要かという単位です。

米国は地球を5個、日本は2個半、中国は2個とちょい、世界では1.7個の地球が必要だそうです。